

# (株)将矢

岐阜市・卸売、小売業(衣類等)

従業員数／男性4名 女性19名 計23名 ※令和4年11月現在

エクセレント  
POINT

- ①子育てや病気などからの職場復帰を支援する多様な働き方を創出
- ②従業員の声をもとに、様々な制度を設け、モチベーションアップ
- ③ママ事業部を立ち上げ子連れ出勤を可能にするなど、子育て中の従業員をサポート



「医療機関を受診したい」など、従業員の声をもとにさまざまな制度を創設。

将矢では、子育てや病気などからの職場復帰を目指す従業員に寄り添い、無理なく働ける環境づくりに取り組んでいる。休職している従業員には、自宅で同様の仕事ができるテレワークを利用可能に。

さらには、未就園児のいる母親に、家庭と両立しながらできる仕事を提供するため、子育て支援を行うNPO団体とともに「ママ事業部」を設立。SNSの運営管理や他社からの業務委託を請け負うなど、新たな仕事の可能性を広げている。ママ事業部で働く従業員は、「子育て中は時間に制約があり、働きたくても働けない人が多い。ここは子連れ出勤ができたり、時間に融通が利き、自分の能力も生かせるので、本格的な職場復帰への準備ができる」と話す。

常に従業員の声に耳を傾け、細かな課題をフォローする制度の構築にも力を注ぐ。3カ月に一度、退勤時間を3時間早め、医療機関の

定期的な受診や心身のリフレッシュに当てる「メンテナンスデー」を設けるなどの多様な支援も行っていく。林伸将代表取締役社長は「今後も働きやすい職場環境づくりの取り組みを実施し、広く発信していく」と、さらなる働き方改革を目指す。



ママ事業部には子育て中の母親10名が在籍。子連れ出勤も可能で、それぞれのライフスタイルに合わせて働いている。

# 一人ひとりに合った働き方を提案

将矢では、子育てや病気などからの職場復帰を目指す従業員に寄り添い、無理なく働ける環境づくりに取り組んでいる。休職している従業員には、自宅で同様の仕事ができるテレワークを利用可能に。

また、余裕をもって通勤できるように始業時間を1時間遅らせ、正社員として働き続けられる環境も整えた。

さらには、未就園児のいる母親に、家庭と両立しながらできる仕事を提供するため、子育て支援を行なうNPO団体とともに「ママ事業部」を設立。SNSの運営管理や他社からの業務委託を請け負うなど、新たな仕事の可能性を広げている。ママ事業部で働く従業員は、「子育て中は時間に制約があり、働きたくても働けない人が多い。

ここは子連れ出勤ができたり、時間に融通が利き、自分の能力も生かせるので、本格的な職場復帰への準備ができる」と話す。

常に従業員の声に耳を傾け、細かな課題をフォローする制度の構築にも力を注ぐ。3カ月に一度、退勤時間を3時間早め、医療機関の